

大久保歯科ニュース

第 10 号

平成 18 年 9 月 20 日発行

みなさま、お元気ですか？

今回のテーマは <入れ歯> です。

歯が何本か抜けてしまうと何らかの方法で人工の歯を入れなくてはなりません。初めて入れ歯を入れる時は、ほとんどの人が強い違和感を覚えます。しかし、違和感があっても、あきらめずに、慣れるために努力することが大切です。

もし歯を抜けたままにしておくと、

残った健康な歯が動いて延びたり、傾いたりして、かみ合わせが悪くなってしまう場合があります。

また、せっかく作った入れ歯を入れようとしても入らなくなってしまう。入れ歯を入れなくてもかめるからといってそのままにせずに、残った自分の歯を守るためにも入れ歯に慣れる努力をしてみませんか。

入れ歯にもいろいろな種類があります

通常の部分入れ歯には、**鉤(クラスプ)**と呼ばれる入れ歯を維持するために歯に引っ掛ける針金が必要です。(写真右)

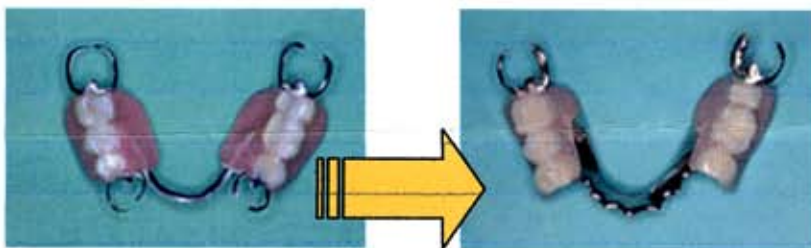
しかし、この鉤は**金属色のため前歯に近くおかれた場合には、見た目を悪くしてしまいます。**

この解決方法として、

アタッチメント(マグネットや精密なボタンなど)を入れ歯に応用する方法があります。ご要望を歯科医師によく相談して、それぞれの入れ歯の特徴を理解したうえで治療を受けて下さい。

アタッチメント…入れ歯を維持する鉤(クラスプ)がないので見た目もよく、

歯にかかる負担も軽減されます。



従来の入れ歯

前方部分にバネが無くすっきり

特にマグネットは磁石を利用して入れ歯を固定する方法で、装着感もよく、長時間の使用に耐えることができます。

